

## 平成 27 年度まちづくり懇談会会議録【加茂地区】

日 時 平成 27 年 11 月 12 日（木） 19：00～20:30  
会 場 加茂地区センター  
参加者 81 人

※「今後のまちづくりについて ～人口減少社会への対応～」と題した説明のあと、参加者の皆さまとの懇談（質疑応答）に入りました。

※会場からのご意見・ご質問

「①菊川市まち・ひと・しごと 創生総合戦略」についての所感・ご意見  
ご意見なし

「②菊川市の公共施設のこれから」についての所感・ご意見

### ●長池・男性

一つ目、自分の経営感覚からすると、段階的にサービス・施設を削っていくよう計画した方が、売上げが減りにくいと感じる。

二つ目、お年寄りの中には、何かあると「市にやってもらえばいい」「補助金がほしい」と、行政頼りの考え方をする人が多い。そういった人の意識改革をしていくのも市の仕事ではないか。

### ○企画財政部長からの回答

一つ目について、市は総合管理計画をまず作り、それに基づいて個別の計画を作ります。総合管理計画は 30 年くらいの長いスパンで考えています。人口減少は少しずつ、公共施設は 1 度にごくんと減らすことはできない。菊川市は使われていない公共施設はあまりない。市民の方も、今あるものをすぐになくすと不安になる方が多いと思います。長いスパンで考えながら、徐々に計画していきたいと考えています。

二つ目について、平成 19 年度に作られた第 1 次総合計画に基づいて行政を行っていますが、平成 28 年度で最終年を迎えます。第 1 次の計画の中でも、市民と行政の協働として、コミュニティを核としたまちづくりコミュニティセンター・コミュニティ協議会の整備や、行政が一緒になって進めていくまちづくりを目指しています。

平成 29 年度から施行となる第 2 次総合計画の中でも、市民と行政の協働を盛り込んでいます。お年寄りの方も含めた多くの市民の方の意見を聞きながら一緒にまちづくりに取り組んでいきたいと考えているので、ご協力をお願いいたします。

●長池・男性

いろいろな計画を聞かせてもらったが、具体的に市役所としてどんなことをするのか。職員を削るのか、市民サービスを削るのか。具体的な方法を市民に見せない、ついてこないのでは。

○市長からの回答

市としてもまず行財政改革を行っていきます。職員数の削減や指定管理、民間管理などを行い、市民サービスが低下しないよう取り組んでいる姿勢だが、10 年後、確実に人口は減り、子どもの数も減少します。医療費や福祉、子育て支援費などは必ず増えることになる。私たちがどれだけ行財政改革を行っても、市民の皆さんに理解を頂かないと、これからの行財政運営はできません。負担してもらわなければいけない部分もどうしても出てきてしまうので、ご理解・ご協力をいただきたいと思います。

●長池・男性

計画の中の「儲かる次世代農業の推進」について。農産物を作ったはいいが、残ってしまったら問題。販売方法について計画の中に追加してほしい。

○建設経済部長からの回答

総合戦略は 10 月に確定したので計画に新たに盛り込むことはできないが、現在作成中の第 2 次総合計画において貴重なご意見として参考にさせていただきます。

●三軒家・男性

- 一つ目、財源があるのか疑問
- 二つ目、減少した人口でやっていけないのか。

○企画財政部長からの回答

一つ目ですが、歳出は社会保障費、施設維持管理にお金をとられる。平成 21 年には 70 億を超えていたが、リーマンショック時に 66 億に落ち込み、現在は 69 億に回復。ずっと右肩上がり難しい。中期の計画を HP に掲載しているので

ご覧ください。

二つ目、借り入れる計画は具体的にはないが合併時は多く 207 億円。現在は 184 億円。団体に見合った借入額かどうかをあらわす指標がありまして、以前は 21 市町中 18 位で負債が多い状況でしたが、23 億円減らすことで 12 位に上がった。今まで抑制計画で借入を抑えていたが、今後も財政の健全化を進めていきたいと考えています。

### ●三軒家・男性

個人的にフィリピン、中国、ベトナムなど外国人とのつきあいが多。人口減少対策として、外国人の受け入れを考えているか。

### ○市長からの回答

今のところは特別計画を立てているわけではないが、外国人児童が日本の学校に入るための支援など、外国人の方が生活に不自由しないように対策を立てているので、ぜひご友人にも菊川市に住むよう呼びかけてほしい。

(閉会：20：30)